

第二種衛生管理者試験解答解説(平成 29 年 10 月公表)

〔関係法令〕

問 1 (2)

- (1) 衛生管理者は選任すべき事由が発生してから【14 日以内】に選任しなければならない
- (2) 正しい
- (3) 少なくとも【4 人】の衛生管理者を選任しなければならない
- (4) 6 人の衛生管理者のうち【1 人】まで、事業場に専属でない労働衛生コンサルタントのうちから選任することができる
- (5) 常時使用する労働者数が 1,000 人を超える事業場では、専任の衛生管理者を【1 人】以上選任しなければならない

問 2 (5)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 衛生管理者の業務に、事業者に対する【勧告】は含まれていない  
勧告できるのは産業医である

問 3 (1)

- (1) 衛生委員会の議長を除く【全委員】ではなく【半数の委員】である
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 4 (3)

- (1) 省略できる
- (2) 省略できる
- (3) 「尿検査」は省略することは出来ない
- (4) 省略できる
- (5) 省略できる

問 5 (3)

- (1) 従業員が 50 人未満の事業場は当面は努力義務である
- (2) ストレスチェックの結果は衛生管理者には通知されない
- (3) 正しい

- (4) 事業者はストレスチェックの結果、心理的な負担の程度が高い労働者からの【申し出】により面接指導を行わなければならない
- (5) 面接指導の結果の保存は【5年間】である

問6 (1)

- (1) 正しい

派遣労働者が派遣中に労働災害により休業した場合の労働者死傷病報告書の提出義務者は【派遣元及び派遣先双方】の事業者であり、その提出先は【それぞれの所轄労働基準監督署長】である

問7 (5)

- (1) 違反していない
- (2) 違反していない
- (3) 違反していない
- (4) 違反していない
- (5) 炊事従業員「専用」の休憩室が必要である

問8 (4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 空気調和設備内に設けられた排水受けについては、原則として【1か月以内】ごとに1回、定期的に点検が必要である
- (5) 正しい

問9 (2)

- (1) 年次有給休暇の日数は【20日】である
- (2) 正しい
- (3) 育児介護休業した期間は、【出勤したもの】として算出する
- (4) 年次有給休暇の時効は【2年間】である
- (5) 年次有給休暇期間の賃金は「通常の賃金」「平均賃金」「健康保険法の標準報酬日額」のいずれかとなる

問10 (4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 妊産婦の場合、管理監督者等であっても深夜業はさせてはならない

(5) 正しい

〔労働衛生〕

問 11 (2)

- (1) 誤り
- (2) 正しい 必要換気量の算出に当たっての室内二酸化炭素基準濃度は、通常「0.1%」とする
- (3) 誤り
- (4) 誤り
- (5) 誤り

問 12 (5)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 算出したWBGTの値が、作業内容に応じて設定されたWBGT基準値【以上】である場合には、熱中症が発生するリスクが高まる

問 13 (5)

- (1) 1ルクスは光度1カンデラの光源から【1m】離れた所で、その光の光軸に垂直な面が受ける明るさに相当する
- (2) 部屋の彩色に当たり、目の高さから「上の」壁及び天井は、照明効果を良くするために【明るい色】にし、目の高さから「下の」壁面は、まぶしさを防ぎ安定感を出すために濁色にする
- (3) 立体視を必要とする作業には、影のできる照明が適している
- (4) 作業室全体の明るさは、作業面の局部照明による明るさの【10%以上】になるようにする
- (5) 正しい

問 14 (4)

- (1) 「事業場内健康保持増進体制の整備」は定める事項に含まれる
- (2) 運動指導を行うのは【運動指導担当者】であり【健康測定】の結果による
- (3) 栄養指導を行うのは【産業栄養指導担当者】であり【健康測定】の結果による
- (4) 正しい
- (5) 専門スタッフの確保が困難な企業では、認定されたサービス機関に委託することができる

問 15 (2)

- (1) 該当する (セルフケア)
- (2) 該当しない
- (3) 該当する (ラインによるケア)
- (4) 該当する (事業場内産業保健スタッフによるケア)
- (5) 該当する (事業場外資源によるケア)

問 16 (4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 一連続作業時間が 1 時間を超えないようにし、次の連続作業までの間に【10～15 分】の作業休止時間を設ける
- (5) 正しい

問 17 (3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 動脈性出血は、傷口から一気に血が噴き出て失血死の恐れがある
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 18 (2)

- (1) 正しい
- (2) 損傷が皮膚にまで及ばない骨折のことを「単純骨折」、骨の先端が皮膚から出ている骨折のことを「複雑骨折」(開放骨折) という
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 19 (4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 腸炎ビブリオ菌による食中毒は「感染型」食中毒である
- (5) 正しい

問 20 (3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 運動性負荷心電図検査は、虚血性心疾患の発見にも有効な検査である
- (4) 正しい
- (5) 正しい

[労働生理]

問 21 (1)

- (1) 正しい
- (2) 「赤血球中の抗原（凝集原）」と「血清の抗体（凝集素）」との間で生じる反応を血液の凝集という
- (3) 赤血球にはヘモグロビンによる酸素運搬作用がある
- (4) 血液の容積に対する「赤血球」の相対的容積をヘマトクリットという
- (5) 血小板は、血液凝固作用に関与している

問 22 (5)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 心筋は意思と無関係に動く不随意筋であるが、随意筋である骨格筋と同じ【横紋筋】に分類される

問 23 (3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 肝臓の機能に「乳酸の合成」はない
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 24 (5)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい

- (5) 呼吸中枢がその興奮性を維持するためには、常に一定量以上の【二酸化炭素】が血液に含まれていることが必要である

問 25 (5)

- (1) 体温調整は間脳の視床下部にある。  
(2) 体温調整のように、外部環境が変化しても身体内部の状態を一定に保つ仕組みを生体恒常性（ホメオスタシス）という  
(3) 寒冷にさらされ体温が正常より低くなると、皮膚の血管が収縮して血流量を減少させ、体温の低下を防ぐ  
(4) 体重 70kg の人の体表面から 100g の汗が蒸発すると、体温が約 1℃下がる。  
(5) 正しい

問 26 (3)

- (1) 正しい  
(2) 正しい  
(3) 腎臓は、背骨の両側に左右一体あり、それぞれの腎臓から【一本ずつ】の尿管が出て膀胱につながっている  
(4) 正しい  
(5) 正しい

問 27 (5)

- (1) 正しい  
(2) 正しい  
(3) 正しい  
(4) 正しい  
(5) 交感神経系は、身体の機能をより活動的に調節する働きがあり、心拍数を増加したり、消化管の運動を【抑える】

問 28 (3)

- (1) 正しい  
(2) 正しい  
(3) C の部分は【水晶体】である  
(4) 正しい  
(5) 正しい

問 29 (2)

- (1) 正しい  
(2) 典型的なストレス反応として、副腎皮質ホルモンの分泌の【亢進（増加）】がある

- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 30 (2)

- (1) 正しい
- (2) メラトニンは「松果体」から分泌され、夜間に分泌が上昇するホルモンで「睡眠と覚醒のリズムの調節」に関与している
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい